

# 日高の交通安全（平成18年日高支庁管内交通事故概況）

## 交通事故の概要

平成18年の管内の交通事故発生状況は、発生件数・死者数・傷者数ともに前年より減少となりました。

発生件数：225件で前年より16件減少し、6年連続の減少となりました。

死者数：10人で前年より3人減少し、昭和31年以降では、平成15年の9人に次いで2番目に少ない記録となりました。

傷者数：316人で前年より34人減少となりました。

## 交通死亡事故の主な特徴

### 4月・10月が多い

4月と10月が同数の2人（20.0%）で最も多くなっています。

### 12～14時・18～20時が多い

12～14時と18～20時が同数の2人（20.0%）で最も多くなっています。

### 金曜日が多い

金曜日が4人（40.0%）で最も多く、次いで月曜日と水曜日が同数の2人（20.0%）となっています。

### 最高速度違反・ハンドル操作不適合が多い

最高速度違反とハンドル操作不適合が同数の4人（40.0%）で最も多くなっています。

### 65歳以上による死亡事故が多い

第一当事者（1）の年齢層別では、65歳以上が4人（40.0%）で最も多く、次いで30歳代が2人（20.0%）となっています。

### 車両単独が多い

車両単独が5人（50.0%）で最も多く、次いで正面衝突が2人（20.0%）となっています。

### 国道が多い

国道が6人（60.0%）で最も多く、次いで町道が3人（30.0%）となっています。

### 市街地直線・非市街地直線が多い

市街地直線と非市街地直線が同数の3人（30.0%）で最も多く、次いで非市街地カーブが2人（20.0%）となっています。

### 四輪乗車中の死者が多い

四輪乗車中の死者は8人で、全体の80.0%を占めています。

## 用語解説（1）

第一当事者とは、過失がより重い、又は過失が同程度の場合にあっては、被害がより小さい方の当事者をいいます。

## 交通事故発生状況

### 1 年別発生状況

管内の交通事故発生状況を年別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに前年より減少となりました。

発生件数：225件で前年より16件減少し、6年連続の減少となりました。

死者数：10人で前年より3人減少し、昭和31年以降では、平成15年の9人に次いで2番目に少ない記録となりました。

傷者数：316人で前年より34人減少となりました。

区分	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	増減数
発生件数	287	312	304	343	305	275	270	252	241	225	16
死者数	17	21	19	16	19	19	9	14	13	10	3
傷者数	402	435	449	518	429	380	412	346	350	316	34

### 2 町別発生状況

管内の交通事故発生状況を町別に見ると、新冠町・新ひだか町・浦河町で発生件数・死者数・傷者数ともに前年より減少となりました。

発生件数：新冠町（6件）・新ひだか町（19件）・浦河町（7件）で前年より減少となりました。

死者数：新冠町（1人）・新ひだか町（2人）・浦河町（2人）で前年より減少となりました。

また、平取町・様似町では、死者数が0人となりました。

傷者数：新冠町（8人）・新ひだか町（17人）・浦河町（16人）・様似町（3人）・えりも町（1人）で前年より減少となりました。

区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町	管内計
18年	発生件数	71	21	13	69	32	11	225
	死者数	6	0	1	1	1	0	10
	傷者数	107	32	22	93	37	14	316
17年	発生件数	64	14	19	88	39	11	241
	死者数	5	0	2	3	3	0	13
	傷者数	107	21	30	110	53	17	350
増減数	発生件数	7	7	6	19	7	0	16
	死者数	1	0	1	2	2	0	3
	傷者数	0	11	8	17	16	3	34

### 3 月別発生状況

管内の交通事故発生状況を月別に見ると、発生件数・傷者数では12月が、死者数では4月と10月が最も多くなっています。

発生件数：12月が27件（12.0%）で最も多く、次いで4月が23件（10.2%）となっています。

死者数：4月と10月が同数の2人（20.0%）で最も多くなっています。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	12	17	20	23	18	14	20	17	17	20	20	27	225
死者数	0	1	1	2	0	1	0	1	1	2	0	1	10
傷者数	13	25	30	34	28	16	32	20	25	26	28	39	316

#### 4 時間別発生状況

管内の交通事故発生状況を時間別に見ると、発生件数では8～10時が、傷者数では14～16時が、死者数では12～14時と18～20時が最も多くなっています。

発生件数：8～10時が36件（16.0％）で最も多く、次いで14～16時が35件（15.6％）、16～18時が34件（15.1％）となっています。

死者数：12～14時と18～20時が同数の2人（20.0％）で最も多くなっています。

区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	合計
発生件数	5	2	5	15	36	26	16	35	34	32	16	3	225
死者数	1	1	0	1	1	0	2	1	0	2	1	0	10
傷者数	6	1	5	26	50	39	22	52	47	42	23	3	316

#### 5 曜日別発生状況

管内の交通事故発生状況を曜日別に見ると、発生件数では水曜日と金曜日が、傷者数では水曜日が、死者数では金曜日が最も多くなっています。

発生件数：水曜日と金曜日が同数の41件（18.2％）で最も多く、次いで日曜日が32件（14.2％）となっています。

死者数：金曜日が4人（40.0％）で最も多く、次いで月曜日と水曜日が同数の2人（20.0％）となっています。

区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	27	26	41	31	41	27	32	225
死者数	2	1	2	0	4	0	1	10
傷者数	32	32	62	37	54	43	56	316

#### 6 第一当事者の法令違反別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の法令違反別に見ると、発生件数・傷者数では前方不注意が、死者数では最高速度違反とハンドル操作不適が最も多くなっています。

発生件数：前方不注意が66件（29.3％）で最も多く、次いで前左右不確認が38件（16.9％）となっています。

死者数：最高速度違反とハンドル操作不適が同数の4人（40.0％）で最も多くなっています。

区分	酒酔い	通行区分	歩行者 妨害	最高速度	信号無視	一時 不停止
発生件数	0	5	2	4	2	8
死者数	0	1	0	4	0	0
傷者数	0	8	2	4	2	11

区分	安全運転義務違反									その他 の違反 ・不明	合計
	前方 不注意	動静 不注視	前左右 不確認	ハンドル 操作	ブレーキ 操作	安全速度	後方 不確認	その他	小計		
発生件数	66	34	38	13	28	5	11	3	198	6	225
死者数	1	0	0	4	0	0	0	0	5	0	10
傷者数	103	46	45	17	40	6	13	10	280	9	316

## 7 第一当事者の年齢層別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の年齢層別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに65歳以上が最も多くなっています。

発生件数：65歳以上が53件（23.6%）で最も多く、次いで30歳代が48件（21.3%）となっています。

死者数：65歳以上が4人（40.0%）で最も多く、次いで30歳代が2人（20.0%）となっています。

区分	ドライバー							小計	ドライバー以外		合計
	25歳未満	25～29歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上		自転車	その他不明	
発生件数	29	24	48	29	24	16	53	223	1	1	225
死者数	1	1	2	0	1	1	4	10	0	0	10
傷者数	40	33	66	39	30	24	82	314	1	1	316

## 8 事故類型別発生状況

管内の交通事故発生状況を事故類型別に見ると、発生件数・傷者数では追突が、死者数では車両単独が最も多くなっています。

発生件数：追突が88件（39.1%）で最も多く、次いで出会い頭と車両単独が同数の23件（10.2%）となっています。

死者数：車両単独が5人（50.0%）で最も多く、次いで正面衝突が2人（20.0%）となっています。

区分	人対車両	自転車対車両	車両相互						車両単独	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	すれ違い	右折時	その他		
発生件数	22	11	22	88	23	5	13	18	23	225
死者数	1	0	2	0	0	1	0	1	5	10
傷者数	22	11	49	120	31	8	21	28	26	316

## 9 道路別発生状況

管内の交通事故発生状況を道路別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに国道が最も多くなっています。

発生件数：国道が136件（60.4%）で最も多く、次いで町道が47件（20.9%）、道道が29件（12.9%）となっています。

死者数：国道が6人（60.0%）で最も多く、次いで町道が3人（30.0%）となっています。

区分	国道	道道	町道	その他	合計
発生件数	136	29	47	13	225
死者数	6	1	3	0	10
傷者数	204	38	59	15	316

## 10 地形別発生状況

管内の交通事故発生状況を地形別に見ると、発生件数・傷者数では市街地直線が、死者数では市街地直線と非市街地直線が最も多くなっています。

発生件数：市街地直線が74件（32.9%）で最も多く、次いで市街地交差点が67件（29.8%）となっています。

死者数：市街地直線と非市街地直線が同数の3人（30.0%）で最も多く、次いで非市街地カーブが2人（20.0%）となっています。

区分	市街地			非市街地			合計
	交差点	直線	カーブ	交差点	直線	カーブ	
発生件数	67	74	11	15	33	25	225
死者数	0	3	1	1	3	2	10
傷者数	86	105	15	19	43	48	316

## 11 年齢層別状態別死者数

管内の交通事故死者数を年齢層別状態別に見ると、50歳代が3人（30.0%）で最も多く、次いで30歳代と65歳以上が同数の2人（20.0%）となっています。

また、四輪乗車中の死者は8人で、全体の80.0%を占めています。

区分	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
四輪乗車中	0	1	2	0	2	1	2	8
二輪乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊車乗車中	1	0	0	0	0	0	0	1
自転車乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行中	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	1	2	0	3	1	2	10